

調査対象：講演会参加者（127人）

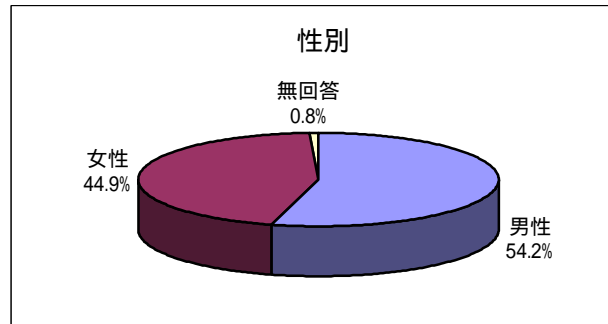
調査方法：講演終了後、会場にて回収

有効回答数：118件 回答率：93%

1. 参加者の属性について

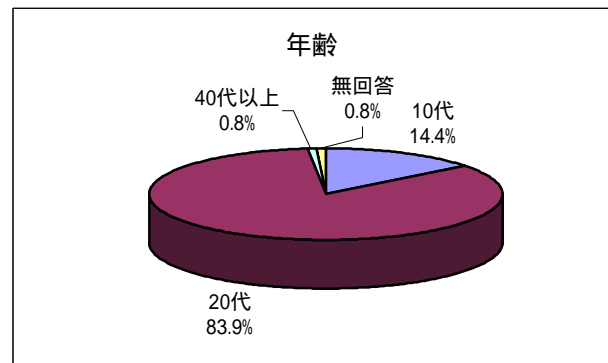
性別

	性別	人数	%
1	男性	64	54.2%
2	女性	53	44.9%
3	無回答	1	0.8%
	計	118	100.0%



年齢

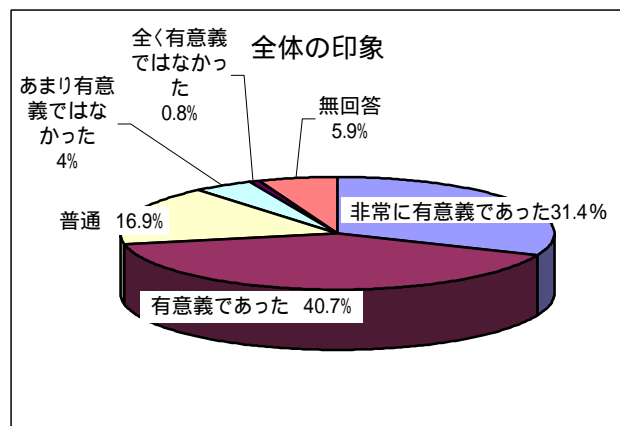
	回答	人数	%
1	10代	17	14.4%
2	20代	99	83.9%
3	30代	0	0%
4	40代以上	1	0.8%
5	無回答	1	0.8%
	計	118	100.0%



3. 本フォーラムについて

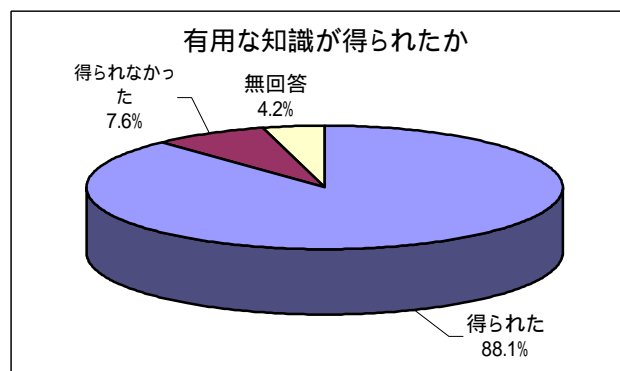
(1) 全体の印象について

	回答	人数	%
1	非常に有意義であった	37	31.4%
2	有意義であった	48	40.7%
3	普通	20	16.9%
4	あまり有意義ではなかった	5	4%
5	全く有意義ではなかった	1	0.8%
6	無回答	7	5.9%
	計	118	100.0%



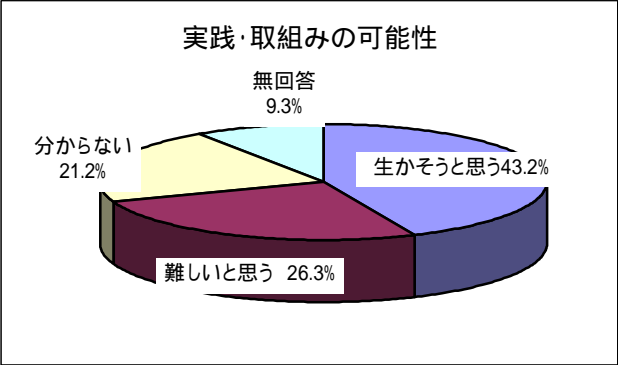
(2) 本フォーラムで有用な知識が得られましたか？

	回答	人数	%
1	得られた	104	88.1%
2	得られなかった	9	7.6%
3	無回答	5	4.2%
	計	118	100.0%



(3)(2)で有用な知識が得られたとお答えの方へ、
本講演で得られた知識を今後の仕事や地域での活動などに活かそうと思えますか？

	回答	人数	%
1	活かそうと思う	51	43.2%
2	難しいと思う	31	26.3%
3	分からない	25	21.2%
4	無回答	11	9.3%
	計	118	100.0%



4. 犯罪被害者等について

(1) 犯罪被害者の現状についてどう思いますか？

回答

- ・最近、本当に身近な犯罪が多いのではないかと感じている。知り合いと話しているが、夜道を歩く危険性は、誰でも身近に感じていると言っているくらい。「変態さん」と呼んでいるそんな危険な人たちが、いつ我々に危害を加えてもおかしくないと思うと怖い。
- ・まだまだ被害者を守るべき法律等が少ないと思う。被害を人に伝えること、被害者に罪はないことを確実に、全ての被害者に知ってもらえる社会が必要なのだと思った。
- ・今は相談所などが多いので、昔よりケアがなされているのかなと感じた。
- ・事件や事故、何らかの形で被害にあった被害者はそれ自体から立ち直りもそうだが、周辺から二次被害によって受けるショックの方が深刻のように思えた。
- ・社会的にもっと知ることがあるとよい。被害者支援のことをもっと知るべき。
- ・犯罪被害者の人権や心の傷がないがしろにされている様に思う。
- ・近くにいない場合、報道に頼らざるを得ないし、その報道でも被害者は犯罪者と同列に書かれているように感じる。支援される体制は整っているとは思いますが、周囲の人の他人事であるという意識は強くなっていくように思う。
- ・昔にくらべ、ケアの面が改善されつつあるが、まだ改良すべき点が多いのだなと思いました。
- ・生活支援や精神支援等のサポートがまだ不十分であると思った。殺されたショックも大きいですが、その後のことを考えることの方が未恐ろしいと思うので、社会的サポートは充実させなければならない。
- ・自分の知り合いで、犯罪ではないけれど、肉親の死に目にあい、心に相当なショックを受けた人がいる。ショックを受けてから、何年か経っているが、ずっと病院に通いつめている。その人がどのように深刻な状況であるのかということは、さすがに細かくは聞けないがやはりその傷は相当なものであると思う。どのような状況にしても、誰かが死に直面する時、その場にいあわせていたということは後に精神的なダメージを受けたとしても、全くおかしくない。
- ・私はそんなに大きな犯罪被害にあったことがないので実際被害者の気持ちはなんとなくわかっていても全てを理解はできない。話をきいて、警察・弁護士・報道など二次被害はあってはならないと思う。理解してほしいともいえない。言ってもニュアンスを変えてとらえられるなんて辛すぎる。被害者は何も悪くないのだから、もっと支援され護られるべき。
- ・犯罪被害者の現状について客観的に受け止めたいと思った。
- ・犯罪被害者はとても傷ついているにもかかわらず、その傷を開いてしまうような状況が多すぎると思った。それも、メディアなどが傷を開き、この傷を開いてしまっている現状は問題だと思う。
- ・二次被害の防止の対策が必要だと思った。
- ・被害者の心の傷は簡単には治せないから多くの人たちが理解してくれたら、被害者にとってもいいと思う。被害者にとっても、優しい環境作りが必要だと思う。
- ・被害者の対応が少しづつだけ良くなっているのではないかと思う。
- ・想像できないくらいの精神状態になってしまうのは辛いと思う。
- ・ストレスやトラウマになっている人が大勢いると思う。
- ・あまりかんばしくないと思う。
- ・環境がよくないのが、大変だと思う。
- ・自身のトラウマを思い出したりいやな場面などを見てその事を忘れられずに、ずっと心に刻みこまれる事はとても辛いものだなと思いました。
- ・被害をうけているにも関わらずそれを誰にも言うこともできず泣き寝入りをしている人々は数多く存在する。そういう人々を救う法律が、今後立案されることを望む。
- ・少しずつでいいから心の傷をふさぐために最善のことをしなくてはいけないと思った。
- ・報道されていることが全て事実であると思うということをしてはならないと思った。報道などによる2次被害によって被害者の心はさらにズタズタにされることがある。こういったことはあってはならないことだと思う。被害者を保護するという周囲の人々が力をあわせてやらなければならないと思う。
- ・加害者に優しい現状では様々な行動を起こすのは難しいと思う。
- ・犯人が真剣に謝罪しても回復は難しいので、今のゆっくりと回復する方法をとるのが一番だと思います。
- ・被害者のことを理解しようとしなければならないのだと思いました。

回答

・答えに困ります。正直、大変難しい問題でした。私自身が、この立場ならいい。いう仮定で考えても答えられません。人の心を動かし、支える仕事は本当に素晴らしいものだと思います。しかし、本当に本当に難しいことだと考えます。ただ、一つ思えたのは、今以上にこのような支援の場が増えることを願います。

・ひどい。

・現状といっても犯罪被害は何十年も前からある事ですから、特筆すべきところではないと思います。悲しい事ではあると思いますが。

・日本は加害者に対しての法律は多々あるが被害者支援に対する法律は最近までなかったと聞く。犯罪者を税金で養っていると考えると理解にくるしむ。

・自分で体験したことがないのでよくわからないが話を聞いて感じたことは、被害者の方々は、想像もつかないほどの精神的苦痛があり、その傷は決して消えないものだった。

・実際に被害者になって見ないと分からないです。

・まだできることがたくさんあると思いました。

・辛い記憶はなかなか消えないし、一生消えないかもしれない。だけど、みんな必死に生きているんですね。すごいと思いました。

・身近で起きたことがないのであまり実感がわかないのも事実ではあるが、今日話を聞いたりすると、目に見えない傷のほうが深いということを知ってほしいと思った。

・政府の対応、対策は遅すぎると思います。確かに、支援する施設ができたのは、とても素晴らしいことだとは思いますが。しかし私は誰かの血が流れなければ何もしないのが政府だと思います。支援する施設ができて、それも誰かが犠牲にならなければできなかったと思います。できうるなら、誰かが血が流れる前に、こういった施設ができてもらいたかったです。

・手助けをして、とても喜んでくれる被害者がいるとは思いますが、素直に喜んでくれない場合もあるので、そこをどのように対応すればよいのかを考えなければならぬと思う。

・過去より充実してきていると感じたが、まだ完全ではないと感じた。

・増え続けていくように思う。それに伴って支援者も増えていくべきだと感じた。

・大きなキズをうけても警察はあまり心を治す手伝いをあまりしてくれないというのに驚いたのと、48年も前の事件の悲しみを自分1人で背負っていくという話が被害者の人が心に封印するというのは想像のつかないくらい心が痛んだんだと思いました。自分が考えた以上に殺害にあった人は辛い目にあっているんだなと思います。

・犯罪被害者のための支援があるということがあまり知られていないのではと考える。

・犯罪被害者の支援については、曖昧できちんと行われいないのが現状であることを実感しました。しかし、PTSDという心の病を負った人はきちんと専門家の治療を受けるのが一番だと思った。

・新潟中越地震の時にPTSDという言葉を知りました。興味をもち、どういうことをいうのか調べていくと、そういった傷を負った人たちのことを言うんだと思いました。また、支援施設があることで、今まで言えなかった人が言えるようになるなら良かったと思います。そして以前にも別な講演で聞いたことがありましたが、また違う話をきけてよかったですし、PTSDになった人も自分がPTSDだと思っていない人もいます。

・足りないと思うが、手をさしのべていてもどこまでのばすべきか、またのばした手をとらない被害者もいるんじゃないか。

・被害者への精神的・経済的カバーが不十分であると思った。

・犯罪被害者は犯罪がある限りなくなるが、その被害者の気持ちを軽減できる機関がここであると思う。実際名前を聞くのは初めてぐらいで名前すらあまり認識がなかった。今回これを聞いて、被害者に対し、まだ整った環境ではないと思うので、この被害者支援の知名度をあげ、有効に活用し、現実をうけとめ支援をしていくことが大事だと思った。

・被害を受けた人の心にはとても大きな傷を負って、それを一生背負って生きていかなければならないのはとても辛いことだと思います。

・他人事に思うような人が多い。

・他人事ではなく身近にあると思った。

・大変なんだろうと辛いんだろうと思っているけど、実際に身に起こらなければ自分もいつかは思いつつも他人事に思ってしまうということは多くの人に当てはまることだろうと、今日改めて思いました。また、二次被害が身近なところで、様々なところでおこるということは正にその通りであるなと実感しました。時として、元の被害よりも二次被害の方が辛い状況になるのだろうかと思いました。

回答

- ・かわいそうだと思うけど、もはや一般人にはどうにもできない。専門家が集まってケアをしなければならぬ。
- ・犯罪被害者の現状を聞いていて、一番つらいだろうと思ったのはPTSDになってしまった人たちでした。目の前で事件を見てしまい、そのことがトラウマというか障害になって残ってしまうということは絶対つらいと考えました。時間がたてば忘れられるといった簡単なことではなく、しっかりとケアすることが大切だと思いました。
- ・サポートがいきとどかない地方の人やいなかの人などがまだ多くいるのではと思います。
- ・被害者は一生人をうらみながら生きていかなければならないというのは、本当に辛いだろう。うらみたくないだろうし、忘れてしまいたいのだろうけど、被害者になってしまうと、そう簡単にはいかないのだと思う。
- ・今こそは報告数は多いだろうが、それでもなお心の中に閉じ込めてしまっている事件や被害がまだまだたくさんあると思う。しかし、それらを無理に聞くことはできないので周りの環境をととのえていく必要があると思う。
- ・犯罪を手厚く保護し、被害者にはあまり支援が無いのがかなしい。もっともっと充実させてほしいし、2次被害も精神的にかなりやられると思う。
- ・他人との交流は人を傷つけもするが、いやしもする。積極的に良い交流を計ることで犯罪被害者の心も癒えろと考える。繋がり弱い現代に上手く対応する事が健やかに生活するのに必要だと感じた。
- ・認知が低いことがわかった。
- ・法律では被害者にとって良い方向へ向かっていると思いますが、何かあった時のまわりの支援でまだまだ改善していける所があるとお話をきいていて思いました。
- ・過剰なケアや扱いを受けている様な気がした。一つ一つの事例について、詳しい事は説明されていないため、自分の誤解も多少なりともあるかもしれないが、被害者が一番大変、一番辛い、一番ケアすべき存在であるという過剰な扱いが見える為、加害者が一方的に悪いといっている様に聞こえる部分が時々あった。被害者の味方してくれるのは嬉しいが、少し過剰すぎるケアは自分はされたくない。
- ・より発展していると思うが、まだ、身近には浸透していない。その発展とともに浸透することが大事だと思う。
- ・被害者のおかれている現状は、一人一人違うものだから、個別に考えていかなければならないと思う。被害者という大枠で語ることはできないと思う。
- ・犯罪被害者の方たちへの支援が増えればいいと思った。
- ・大変であることである。
- ・正直まだ頼りないもののようにも思うが、被害者に一步を踏み出させるキッカケにはなっているように思います。キッカケを作る存在というのは、大変重要な存在だと僕は思うのでどんどん団体の認知度を高め、たくさんの人々を助けてほしいと思う。
- ・今回講演会を聞かせていただき、初めて被害者支援の現状やその歴史に触れ大変勉強になりました。今、世の中は当たり前のように毎日殺人事件など残忍な報道が伝えられていますが、これを現代の人々は毎日どのように受け止めているのか、少なくともこのような事件のおかげで苦しみを一生背負っていく家族がいるということを忘れてはいけなそう感じました。
- ・だんだんよくなるはなっているかもしれないがまだたりないと思う。
- ・心に大きな傷を抱えているのが被害者の現状だと思います。その傷の深さは本人にしか分からない苦しみで一生消えることはないのだと思いました。
- ・理不尽に被害にあってしまった人が本当にいることを知り、改善していかなければいけない問題だと思う。
- ・被害を受けた時は新聞やマスコミ等の報道で大々的に取りあげられ、周りの人からも同情という形であるが、いろいろと思ってもらえる。しかし、時が経つにつれて周りの人は忘れていってしまう。やはり自分自身が被害者にならない限り、本当のつらさはわからないから、周りの人の意識を変える事はかなり難しい事だと思う。
- ・様々な事例を通して、被害者の方の色々な気持ちを知れました。「話したら思い出してしまう」「同じ立場の人(兄弟など)に話すと思い出させてしまう」と被害者自身が周りに気を使ってためこんでしまっている現状を聞き、ためこむことをしないように少しでも解放できるように支援していかなければならないと思いました。相手が何も言えないけれど辛い時は、何も聞かず何もせずそばに居てあげようと改めて思いました。
- ・辛い思いというのは、その人にしかわからないと私は思います。安易に気持ちが分かるなんていってはいけないと思います。そのことも考えながらカウンセリングしていくことは難しいことだと思いました。

回答

- ・より多くのカウンセラーが必要だと思う。
- ・犯罪被害にあった人たちの心のケアというのは完全に治すことはできないけれど、しわをのばしていくというケアの仕方というのは被害者にもがんばってもらう事が重要だと思った。
- ・苦しんでいると思う。
- ・ようやく声を大にして、自分があった被害を語るができる社会的な認識の変化、権利が少しずつ認められつつはあるが、依然として、加害者と同列であるという誤解、マスコミをはじめとした周囲の徒らな干渉による二次被害は未だに根強く残っている。
- ・犯罪被害者について何かわからないので、何も言えません。しかし、今日の講演をきいて、想像できない苦しみを一生抱えているんだと感じました。
- ・何か事件があると、様々な報道が広まり、その情報があっているか、間違っているか分からないまま私たちはその情報をうのみにしてしまう傾向があるように思う。それを見て被害者や被害者遺族が少なくとも傷ついているのだと思う。
- ・本日は貴重なお話をいただきありがとうございました。今日のお話を聞いた限りでは被害者の現状は良い方向へ変わってきていると思いましたが、これからの課題としては社会全体への知識の普及がもっとも大切なことだと強く感じました。
- ・いつ自身が被害者または加害者になるかもしれない。どちらもこれから先生きていく中で心の中に傷を持ちながら生きていくことになると思う。自分の中の傷を話し出しやすい、信用できるような環境作りとはなかなか難しいものだと思うが、傾聴してあげるだけでも大分ちがうと思う。その様な知識をもっと広げていくのも良いのではないかと思う。
- ・カウンセリングなどで少しでもフォローできているならば、以前よりもよくなったといえると思います。しかし、二次被害のことを考えると、その被害者の数は事件数以上にはねあがり把握できないほどだろうと思う。そのバランスがとれるのかが気になる。
- ・今日までさまざまな犯罪被害者のための設設や法律が造られてきましたが、それでも傷は深くまだ立ち直れない人が大勢いることを知り、傷の深さを知りました。
- ・大きな事件(サリン事件等)での被害者の会などは、ニュースでやっていたりするので、まだまだ発展していかなければならない状態だったのにはおどろきました。また驚いた事で、自分がいかに被害者に対して無関心が気付かされました。
- ・被害を受けた人たちの現状はとても大変なものだと思った。くしゃくしゃに心がされてしまい立ち直るのは大変なのではないかと思った。
- ・犯罪被害は遠いことのように思われているという言葉がまったくその通りではないかと感じました。現状で、犯罪被害者の現状はまだまだ心の中に痛みをこめていただけなのではないかと感じました。しかし、弁護士さんや他の部分からの二次被害等については聞いて知った部分が多く、被害はどんどん拡大されてしまう所もあるように思いました。しかし同時にまだまだ被害者支援については認知度が低いということもあるのではないかと思います。
- ・今日の講演を聞くまで犯罪被害者相談窓口があるということすら知らなかった。一次被害よりも二次被害の方が精神的に辛いと思う。
- ・犯罪被害者だけでなく、被害者に対するケアが足りないと思う。事件が法的に解決しても、被害者の心の傷は癒されないのだと今日の講演で思いました。
- ・まだまだ保障が足りないと思う。犯罪の加害者は実は刑務所の中において、過剰な報道にさらされれば、被害者として立ち上がる。なのに、被害者は警察などから説明を聞きはするものの、心のケアが追いついていない印象がある。
- ・相談する人が想像していたよりも多いと思った。
- ・フラッシュバックは何年経っても治ることはない聞いたが、何かこれからよい治療法などは見つからないのだろうか。日々、発作がいつ起きるのかおびえて生活していくのはあまりにも辛すぎると思った。

(2) (1)に対して、どのようにすればよいと思いますか？

回答

- ・この様な犯罪被害者支援の相談窓口や委員会の存在を社会に幅広く伝えていくべきだと思う。
- ・かたくなしい感じではあると思うのはしょうがないですが少しいきぬきがほしいと思う。
- ・各メディアが被害者に対する配慮を心がける。近隣住民が適切な配慮を心がける。左記の事を実行させるようなシステムを作る。
- ・今ある支援体制から各機関へ被害者についての考え方を広めていくしかないと思う。
- ・もっと実践し、ケース例を分け、対処につとめる。
- ・公的なカウンセリングを受けれる場をもっと作るべき。行政サポートの充実が被害者救済の一步になるのではないかと思う。
- ・当事者から、聞きだすのではなく、自然と話を打ち明けられる環境を作り出してあげることが、傷を少しでも癒すことができる唯一の対策であると思う。傷を癒そうと努めている側の行動によって、フラッシュバックを引き起こすのであれば、ただ寄り添ってあげることでしか、心が開かれる方法はない。
- ・きちんと事実関係をきちんとすべきだと思う。一般的に第3者に情報が流れるのはメディアによるものだから間違った報道をしないようなことをしなければならぬ。何が正解で間違いかなんて私たち第3者には分からないから。
- ・生かしたいと思うが難しいと思う。加害者も人間であるのだから、被害者ともにきちんと原因などを解明していくべきだと思うから。実際に私も被害にあって落ち込んだことはあるが、自分のことは自分でしっかりしないといけないという結論になり、あまり被害者だからといって社会はかえりみなくてはくれないと思う。
- ・犯罪被害者に関係する人々の気持ちや考え方の変化がなければならぬと思う。
- ・報道関係や司法関係へのセミナーなどを開くような対策はもちろん、今回のような一般人へのセミナーなども必要だと思う。
- ・このような講習をもっと増やすべきだと思う。
- ・これからも被害者には優しくしていくとよいと思う。
- ・相談所や警察が早めになんらかの対処が必要になってくると思う。
- ・もっとたくさんの手助けを行うべきだと思う。
- ・政府が親身になって取り組むこと。被害者を軽んじてない。
- ・カウンセリングに行って少しでもいやな事を思い出せないようにしたり、トラウマなどを軽くしたりする。
- ・被害者を守る(又は救う)法律が立案されれば良いかと思う。
- ・カウンセリングを通じて、心の傷をふさぐための対策を見つけることだと思う。
- ・報道をする際には、裏づけをしっかりと事実を伝えることをしなければならぬと思う。周囲の人々もテレビなどで報道されていることを全てうのみにしないで、被害者のことを信じてあげなければならぬ。
- ・とりあえず国民が知らなければと考える。
- ・支援する方や被害者に対して理解する人を増やしていけばいいと思う。
- ・ボランティアの人々の力をかりる。地域に密着した支援を行う。カウンセリング、被害者、身内、それ以外の人々に理解をもとめる。
- ・もう少し考えてほしい。
- ・もっとメディアとかにできるべき。絶対。
- ・犯罪を完全になくす事は難しいと思いますが、無くす努力をすることはできると思います。
- ・個人的には、犯罪者に対して罪を重くしたり、死刑に対しても世論はわかれるところだが、賛成派の自分としてはもっと適応させるべきだと思う。
- ・被害者支援団体の数が全国各都道府県に47ヵ所ある。だから被害者支援団体の数を増やしたりすれば良いと思う。
- ・普通に接してあげたいと思いました。(変に気をつかうと、自分は被害者なんだとより思わせてしまうから)暖かく見守ってあげたいです。
- ・国がもっと補償してくれたらいいと思う。
- ・このまま活動を続けてもらいたいです。
- ・自分としては、どのようにすればよいかわかりかねます。
- ・特に報道間に知識を持たない限り二次被害は続くと感じた。
- ・専門家だけでは対応しきれないと思うので、根本として人が人を助けるという基礎概念や一般の人でも対応できるよう指導を含め、支援者を増やしていくべきだと考えます。

回答

- ・もっと被害者支援があるということをメディアを使って広げていけば良いと考える。
- ・精神科、心療内科がもっと開けていき、困っている人達が行きやすくなればちゃんとした治療が出来ると思う。話を聞くことは誰でも出来るが、聞く話術と訓練と成熟されたサポート技術がいる。それらは、長年の経験を積んだ人が行うべきだと思う。
- ・民間だけでなく国家も手をだすべき。犯罪者に対する支援制度はそれなりに整っているが、犯罪被害者に対するケアは整っていない。ただ、被害者の救済と加害者の救済は、同等に行うことは不可能だと思う。
- ・自分のこと、自分の状況というものを言える人はいいかもしれないがいえない人もいるだろう。だからこそ、そういった被害にあった人へ全員はムリかもしれないが接することが必要だ。また、二次被害はありえない。カウンセラーの人は多分足りないと思うからこそ、他の人たちがその人たちへ配慮していくことで、誰にも言えないという人は減っていくんじゃないかと思いました。「聞いてあげる」「配慮してあげる」「支えてあげる」ということも大切だと思いました。
- ・市民が利用する市役所や警察署、地下鉄やJRのホームや連絡通路に広告する。また、地域や自治で一人一人を根気強くサポート。
- ・普段から自分を守るように気をかけておきます。自分だけ注意していても犯罪から身を守る事は難しいですが、何もやらないよりはいいと思います。
- ・ニュースも新聞をもっと見たり、読んだりして事件、事故を身近に感じる。
- ・被害者に寄り添うことの大切さを聞かさせていただきましたが、早く元に戻ってもらおうという態度で臨むよりも話をじっくりと聞くなどのことをする方がと良いの难道うかと思いました。傷が早く治るならそれに越したことはないのかもしれませんが、早く治ってほしいという態度で臨むことが時として二次被害になるのかもしれないと感じています。
- ・専門家や施設の充実
- ・研究が進めばいいなと思う。
- ・あまりサポートしてくれるのを知らない人や分からない人が多くいると思うので、宣伝した方が良いと思います。
- ・少しでも被害者の気持ちを軽くしてあげられるようにしわのばしをしてあげられるカウンセラーが増えればよいと思う。
- ・犯罪を減らすのはもちろんだが、事件を未然に防げるような社会作り、また被害にあってしまった人々の心を守っていくことのできる強さを周りの人間が持っていくべきである。
- ・制度を充実させ、プライバシーも配慮すべきと思う。
- ・大学等を通して、講演会を増やすといいと思う。
- ・まわりが今日の講演の内容を理解することが大切だと思います。
- ・被害者の話だけを聞くのではなく、被害者の言う事全て信じるのではなく、警察やメディアの発表する事にも注意を向け、被害者にも過失があるかもしれないという。気遣いを持つ事が必要だと思う。
- ・ボランティア等を増やす。
- ・分からない。
- ・今回のような講演会などをたくさん開くなどしてとにかく認知されることが必要だと考えられる。認知されればされるほど、利用する被害者の方々も協力してくれるボランティアの方々も増えるのではと考えた。
- ・被害者のことをより利用していくことが必要だと思う。
- ・苦しみをすべて理解することは出来なくても少しでも気持ちをやわらげたり生きていく希望を持たせてあげられるように誰かが一緒にいて支えることが大切だと思います。
- ・警察や国の行動も大事だが、このような講演会によって、実際に被害の人の気持ちを理解していくのも大切だと思う。
- ・カウンセラーの会社を増やす
- ・無理にきくのではなく向こうから言ってくるのを待つようにすればよいということがわかった。
- ・相手の話を聞くことが大切だと思う。
- ・被害者がトラウマを封印し、心の整理をつけられるまで、又、それまでの「退避」(トラウマからの自己防衛)を支援できる体制を整えることが第一歩であると思う。
- ・私たちはテレビや新聞の情報をそのまま信じるのではなく、疑いを持ちながら受け入れることが大事なのではないかと思う。
- ・こういった講演会のようなものをより広い世代の方に聞いていただくことや各報道機関がもっと工夫してより世の中に認知してもらうことが出来れば良いと思う。

回答

- ・この様な講演会に参加したり、自らも本を読んだりと積極的に行動していけば良いと思う。
- ・カウンセラーや専門機関だけで対応するのは困難ですが、理解をメディアなどを通して深めていけば少しでも良いのではないかと。
- ・親身になって相手の話を聞いたり、はげましたりして少しでも心の負担を軽くすること。
- ・現状を知ることが第一歩だと感じます。講演の中で様々な事件のことをお話していただいたのでかなり理解が深まりました。
- ・もっと社会的に被害者の実状を(二次被害が出ないように)知られるようになればよいと思います。まずは色んな人に実状を知ってもらう事が重要かと。
- ・心のしわをのばす事が必要と思われる。
- ・話の中でも言われていたように、犯罪被害者が守られるということまた報道の部分でも人のケアということに対してもっと知らなければいけないと思う。「被害者」本人だけではない「二次被害」という部分からも、被害者の周囲の人にもわかってもらえる。もしくは、わかるように伝えてあげる等しなければいけないと思う。もちろん犯罪被害相談所だけではなく、もっと身近でこういった「傾聴」という姿勢が得られる場も必要であると思うように感じる。
- ・二次被害は周囲がしっかりと“ケアしよう”と心がければ防げると思う。ただ、家族が二次加害者になるというのは仕方の無いことなのかもしれないと思った。
- ・家庭生活総合カウンセリングセンターの存在、知名度をもっと広めたいと思った。犯罪被害にかかわらず、辛い時は誰かに支えてほしいと思う。本気になって話を聞いてくれる存在を増やす、つくるべきだと思った。
- ・ストレスがかかった状態は、精神病理の状態と全く同じであるといえる。地域の心療内科や精神科にも協力をあおぎ、心の病として治療ができる体制が必要だと思う。また、このような相談室や支援者の存在をもっと市民に知らせて、「被害者だ」と胸を張っていえるような環境をつくるべきだと思う。
- ・警察も事件の処理をしておわりではなくて、その後も今よりもきちんとしてほしいので、話を聞いて支援する人が機関が必要だと思えます。

(3) 今後も同様な講演会を開催した方がよいと思いますか？

回答

- ・被害者に対しても、加害者に対しても、また何もない人でも、いつ自身の身に起きるか、周囲の人に起きるか、分からないので一人でもいいから伝えていってほしい。
- ・切に思う。寄り添う心構えは、我々学生も一般の大人の方も知らない人ばかりだと思うから。
- ・思う。(25名)
- ・開催した方がよいと思います。実際に、現場で働いている方のお話は非常に興味深いです。
- ・あってもいいのではないのでしょうか。
- ・犯罪被害者に対する社会の目が冷たい様に私は感じる事が度々あるので改善する為に開催した方がよいと思います。
- ・学外では講演会がいっぱいあるが、なかなか行くのが難しいため学内でこういう機会が多ければいいと思う。
- ・このような話は普段聞くことは出来ないと思うので、行う方がよいと思う。
- ・やらないよりはやった方が誰かの人の為になる可能性はある。支援してくれる機関があるということを知りきっかけとしては、絶好の機会であると思う。
- ・犯罪被害者の心の内を少しでも知ってもらいたいなら開催した方がよいと思います。
- ・した方がよいと思う。このような講演を聞ける機会は非常に少ないので、興味がある人もない人も話を聞くことでそれまでの考えが変わると思うし、自分には関係ないと思っていなくても、どこかで必ず聞いて良かったと思うと思う。
- ・講演会を行い「犯罪を行うことによる社会的責任」についてもっと広めてほしい。
- ・このような現状を知ることが大切だから開催した方がよいと思う。
- ・した方がよいと思う。今日はとても勉強になった。
- ・開催してもいいし、開催しなくてもいいと思う。
- ・今の時代でも苦しんでいる人を知ってほしい事があるなら、開催した方がよい。
- ・今後もこのような被害者が増えてしまうので、一人でもそういう被害者を減らすために開催した方がよいと思う。
- ・全国民が知るために、開催すべきと考える!
- ・興味がある人だけの参加でいい。
- ・はい。今後も続けてください。他人となる立場の人間に理解をあたえられると思います。
- ・頻繁にあるとなれてしまうので、ためにでも良い。
- ・開催した方がよいと思います。もっと多くの人に知ってもらいたい。
- ・どんなに少ない確率でも誰でも被害にあうことがある。皆が知るべき内容であると考え。
- ・思いません。学外ならいいけど。ゼミの時間を使うなんてありえない。自主参加型にすれ。
- ・様々な所で開催した方がよいと思う。
- ・したほうが良いと思います。きっと犯罪の被害にあったことのない人は被害にあったことのある人の気持ちが分からないと思うので、気持ちを理解するために聞くべきだと思います。
- ・ぜひそういった機会を増やせば良いと考える。
- ・一般市民に向けてしても何もできないし、下手に手を出すようなことになれば被害者の傷をより一層深めるだけで、その回復へのサポートもできない。開催は控えたほうがよいかと思います。
- ・その方が勉強になると思います。もしよければ加害者支援もあるのであれば、聞いてみたいです。
- ・若年層を中心に知名度をあげれば若年層の犯罪防止に役立つのではと思う。した方がよい。
- ・開催した方がよいと思います。被害者の気持ちを知る事で犯罪の抑制になると思うし、周りの人の被害者の心のケアも可能になると思うからです。
- ・したほうが良い。まだ支援団体が世間に広まっている途中だと思う。
- ・良いと思います。今回は大学での講演でしたが、もう少し年齢層を下げ(高校生を対象にするなど)も良いかと思いました。また、司法関係、報道関係の方を対象に、二次被害の話をしてほしいかと思います。
- ・しないよりはした方がよいと思う。
- ・是非また参加したいのでお願いします。
- ・このような話はある意味非日常であり、めったに聞ける話ではないので知らない人を知ってもらうためにも今後も続けてほしいです。
- ・様々なジャンルをやるべき。

回答

- ・犯罪の被害にあった人はどのような壁があって、どのように乗り越えていくのか知らない部分が多いので、このような講演会は大切だと思います。
- ・定期的に行い、より多くの人がこの現状を理解するべき
- ・犯罪・事件を色々な面から聞いてみたい。今日はカウンセリングからの視点、それ以外にも弁護士からの視点警察からの視点等、他の視点から被害者について聞けるともっと被害者の事が理解できると思う。
- ・僕も高校2年生の時、4年間つきあった彼女と同じ夢を抱いた親友を飲酒運転手に殺され、大変辛い時期を過ごしました。幸い、現在に至るまでに死んだ2人と同等ともいえるさまざまな人と会うことによって自己の安定は取り戻せましたが、僕のように回復できる人はすごく稀だと思います。そういう人たちにこういう団体があるのだと訴えるためにも講演会は開催すべきだと思います。
- ・少しでも多くの人に犯罪被害者の現状を知らせるためには今後も講演会を開催することは重要だと思います。
- ・良いと思います。いつ自分が被害者になるのかということをもみんなにも知ってもらいたいと思うからです。
- ・絶対続けていくべきだと思います。
- ・事件がおきた時に、どちらかという他人事という感覚で受け入れていたが、これからはもう少し色々と考え、感じていきたいと思った。とても有意義な時間だったので、今後も開催してほしいと思う。
- ・とても大切なことだと思います。
- ・この様な現実とそれについての知識を広めるきっかけを作るためにも開催した方が良いと思う。
- ・開催した方がよいと思います。生の声が一番心に届くと思いました。
- ・ぜひ開催して頂けたらと思います。本当に聴講した良かったと感じています。
- ・これも実状を訴える手段の一つだと思うので開催した方がよいと思います。
- ・まだ犯罪被害者の心情を知らない方が大勢いるため開催した方がよいと思います。
- ・良いと思う。大学でもそうであるし、もしできるならさまざまな所で行ってもらえる方がよいと思う。話の中にもあったが、司法等の人との連携も必要であれば、その人(等に窓口になるような人)に対してもこういった話、そして研修のようなものは受けてもらった方がよいと思う。一般の人が知らないのであれば土の人が知っていることは少ないのではないかと考えてしまうので。
- ・思う。知らない事がたくさん知れた。窓口がどのような支援を行っているのかを知ることで、私たちも何かしなければならなかった。明日は我が身。他人まかせにするのではなく、自分たちが行動していかなければいけないと思った。
- ・ぜひ開催してほしい。積極的に参加したいと思うし、さまざまな知識を得たいと思う。
- ・学生向けとあとは直接被害にあっていない家族に対してどのような心のケアが必要か、被害者の心にはどのような変化が起こるのかを理解してもらおうとよい。二次被害を少なくするため、無いようにするためにたくさんの人に聞いてほしい。

5. その他のご意見、ご感想について、下覧にご自由にお書きください

回答

・事件でも何でもないけれど、私は被害者でもあり加害者の身内でもありました。今日話を聞いて、思い出すことがあり、初心に帰れたという思いがあります。自分が体験したことを周囲の人に生かしていきたいです。

・とてもためになりました。これからもっと学ぶべきことに対するモチベーションを上げてゆききっかけになったと思います。ありがとうございました。

・ニュースなどでは、加害者の報道が多く、被害者の方の話を書く機会がないので、とても良い機会になりました。

・貴重なお話ありがとうございました。

・犯罪被害者の心の内を本当に理解してあげられるのは犯罪被害者の人だと思います。しよせん非犯罪被害者の人にはうわべだけ多少分かってあげられることは出来ても心の奥そこまでは分かってあげられないと思います。

・貴重なお話聞いてとてもよかったです。心理学を学んでいる者としてとても興味がわきました。授業で学ぶ支援について、現場で働く方の生の話を聞いたのはやはり違いました。どのような話をして実際どのような被害を受けているのか新聞にのった事件、報道された事件など分かりやすい事例を出していただいたのも理解しやすかった。「今日はそうじゃなくても明日は被害者になるかもしれない」という言葉は一番心に残りました。

・今日聞いた話は表に出ていないような話であったため、とても関心をもてた。知らないよりは知ることの方が良いと思うので、今日話を聞いたことは今後の考え方に変化をくれると思う。

・いつ自分が被害者になるかわからない、または友人が被害者になるかもしれない。そんな時、どうすればいいか助けてくれる人がいると知っているのは安心します。今回、このセミナーを受けることができて、とてもよかったです。またセミナーを受けて被害を受ける前に自分に守れることがあるなら、自分を守っていこうと思いました。

・自分はこのような経験はないのですが、今日聞いたようなことを自分にかさねて考えると、とても心が痛くなります。考えるだけでもこんな感じなのに、本物の被害者はどんなに辛いか…。今日はとてもためになる講演会でした。ありがとうございました。

・被害者への対応がとても難しいと感じた。

・とてもためになりました。

・被害者の人たちは、事件がすぎた後でも、心にキズが残りその事から回復する事はとても難しい物だと思いました。

・大多数の人々は「自分には関係ない」と考えているかも知れないが(おそらく否定されると思う)、一寸先は闇、明日は我が身。このようなことはいつ何時、自分に降りかかるものか分からない。今回のような講演会は何度でも開催し、理解を深めるべきであると考えます。

・この講演会をきっかけに一人でもこのような現状があることに理解を示す人が増えれば被害者の気持ちにはなれないけど、少しでも被害者の気持ちを理解する人も増えると思った。

・胸を締め付けられる思いで私は聞いていました。様々な事例を紹介され、今まで知らなかったようなことを知ることができました。被害者の方を守っていくことの重要性を考えさせられました。2次被害によって、被害者をさらに傷つけるようなことは、あってはならないことだと思います。またPTSDについては、ある程度知っているつもりだったのですが、今回の講演を聞いて、理解を深めることが出来たと思います。今回はこの講演を聞くことができて本当に良かったと思います。ありがとうございました。

・私は性犯罪の被害を受けました。私はフラッシュバックがよく起こります。なので私はこういう講演会は好きじゃありません。これ以上、思い出したくないです。これ以上、苦しみたくないんです。

・内容は大変に興味深いものでした。それだけにこのような場を今以上に増やした方が良いと思います。しかし、被害者の方の理解をそれ以上に必要なのでは？公の場で話される方の心情はどうなんでしょうか。(一度、被害者の方の名前を出してしまったように思います)

・自分は今自動車学校に車の免許をとりにいっています。今日、聞いた話で交通事故による被害が改めて多いとわかりました。だから、自分も免許をとったら絶対に交通事故をおこさないようにしたいと思った。

・明日は自分が被害者になるかもと怖いです。

・レジュメが見づらい。マイクの声が小さい。

・直接的に事件に関わった人だけでなく、福知山線の脱線事故での看護師がPTSDを発症したように二次被害についても、今後問題として挙げるのではと考えています。ゆえに二次被害者の発生についても考慮していくべきと考えます。

回答

- ・被害にあった人は心が砕けないで、その後の人生を辛くても生きているのが強いと思いました。どうしても後から「あの時どうして」というやりきれない気持ちがあると思います。心の苦しい気持ちとか後悔とかはなかなか消えなくて辛いものだと思います。自分は被害にあった事のないだけで幸せといたらおかしいかもしれないけど、犯罪は恐いって思えたり、話を聞いて、なった事のない立場が少しだけ見えた気がしました。
- ・今日講演を聞いていて思ったんですが、犯罪被害者に対して接する時には、その人自身の考えなどをきちんともって「こうだったらこうある」ではなくて、その人その状況にあった対応していけるんじゃないかな、ムリなのではないかと思いました。今日は貴重なお話ありがとうございました。勉強させてもらいました。自分も中学の時の記憶がほぼありません。多分PTSDだと思われます。
- ・僕は初めてに近い感じでこの支援相談所があることを知った。この中には同じような人が大勢いると思う。この中には同じような人が大勢いると思う。もしこの中で犯罪被害者になった時に有効活用できないかもしれないと思うので、このような機関があることを知ってもらえる活動をしていくのと、今日犯罪が多くなってきているので、この支援に携わるカウンセラーを増やしていけばいいと思った。
- ・人の心はとても壊れやすいものだと感じました。私は昔からあまり人に気をつかわずに思った事を色々と言ってしまふ性格なのでそういう事で人を傷つけていたかなと思いました。私は今日の話聞いて、規律を守る気持ちがいっそう強くなりましたし、自分の周りで被害者の人がいれば最大限サポートしてあげたいと思いました。
- ・被害者の気持ちは、本当に自分も被害者にならないと理解できないだろう。しかし、話を聞いてあげることですら少しでも力になれることはすばらしいと思う。
- ・高校生同士の女関係のトラブルがあったのはうちの近所の公園でした。殺人の親は警察のエリートで今でも高給取りだそうです。被害者は一切罪のない人間なのに理由もわからずそのまま亡くなってしまうなんて本当に許せません。そして報道(マスコミ)もしっかり事実(裏づけ)を知らせるべきだ。
- ・正直古傷がうずくような思いで話を聞いていましたが、僕のようにこういう団体に頼らずある程度回復する(肉親ではなかったことも当然関係しているとは思いますが)人は極めて稀であることがよく理解できた。最近、特に意図を理解しかねる殺人事件が多発しているように思われ、ますます被害者に様々な形でアプローチできる団体というのは重宝される時世になると思うという結論に至りました。今日は短い時間でしたが、大変タメになるお話を聞くことができました。ありがとうございました。
- ・本日の講演会では犯罪被害者の方たちの心の傷をいかに大きいものかを改めて実感することができました。
- ・私のまわりにはトラウマをもっている人はいないが、もしまわりにそのような人がいたらどう接したらいいのか分からないと思う。一言で傷つけてしまいそうで、怖くなると思った。
- ・被害者を受け入れることが大事だと思う。
- ・またこの様な機会があれば、是非また参加させていただきたいと思いました。本日はありがとうございました。
- ・もし自分の身に事件等が起こり被害者又は被害者遺族になったら考えると恐ろしいが、今回の講演会で聴きしたことを今後生かしていければいいと感じた。
- ・自分は被害者でも加害者でもないが、今日話をきっかけに被害者の心の傷について考えることができた。また考え続けていくことが大切だと思った。その様な人たちは実は身のまわりに多くいるのだと気付くこともできた。
- ・私は国際大学で心理学を学んでいるので、カウンセリングの方法、現場の声を聞くことができ、とても勉強になりました。善養本先生のお話を聞いていて、被害者・遺族のことを想像しただけで、涙がでてきました。実際の立場に立たずともこんなに苦しくなるのだから自分がそうなった自分を想像することができませんでした。今、大学3年生なので自分の進むべき道を探しているところですが、このようなカタチもあるのだと本当に考えさせられました。正直OLになれたらいいかなと甘んじていたところもあったのですが、心理学科に入ろうと思った理由、誰かの力になりたいということ思い出しました。改めて、進むべき道を考えておりました。きっかけを与えてくださり、様々なお話をありがとうございました。お身体に気をつけて、これからもご健闘お祈りしています！

回答

・私のおばは21年前に殺人事件にまきこまれて亡くなりました。私は小さかったので記憶にはないのですが、祖母・祖父はじめ親族は悲しみに暮れていました。家族同士で傷つけあうような状態にまでおちいってしまいました。話の中で「被害者の時間は封印されている何年経っても昨日のことに思う」という様なことを言われ、時々思い出したように苦しんでいる祖父母を思い出しました。家族だけではケアできないこと、何年経ってもこういった支援は受けることができるのか少し気になりました。私も心理に携わる人間ですが、同時に傷つけあった家族を見ているため、上手く祖父母の心を聞いたりということができないのです。気持ちはわかっていてももしできるならおそくなった。今でもそういった心のケアを受けてもらうことができないのかと考えてしまいました。

・犯罪にも様々な種類があり、それぞれに応じたカウンセリングをするということに驚いた。北海道家庭生活総合カウンセリングセンターというものはじめて知りました。すみません。

・本日はありがとうございました。私は乖離売春の被害者です。男性に興味がないといえばウソになりますが、真剣に付き合うということができなくなりました。これもPTSDでしょうか。

・被害にあった時はよろしくお願いします。

・将来、自分がめざす職業にとっても役にたった。